

平成19年3月期中間決算説明会
～ 決算短信補足資料 ～
【連結・単体】

平成18年12月5日(火)
石光商事株式会社
(証券コード:2750 JASDAQ)

目次

- . 平成19年3月期 中間決算の概況
- . 平成19年3月期 通期の見通し
- . 中期的展望
~ 「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」 を目指して ~
- . 参考資料
~ 会社概要、売上高概況(単独) ~

. 平成19年3月期 中間決算の概況

常務取締役 管理部門長兼経営企画室長
久保 潤一

1. 当中間決算(連結)のポイント

1. 売上高は、予算達成。前期比は、機械・機器輸出と繊維製品により減少。(繊維製品はH18-3末で事業閉鎖)
2. 原料高・円安によるコスト上昇・競争激化による利益率の低下 営業利益が大幅減少
3. 持分法利益の減少 経常利益も減少。
4. 未払金戻入益150百万を特別利益に計上。
(未払金に計上していた立退料債務の時効期日が、当中間会計期間において経過したため)

2. 平成19年3月期中間決算(連結)の概要



石光商事株式会社

実績と前期比

(百万円)

	18年3月期		H19-3期 中間予想 (5/12)	H19-3期 中間実績	前年同期比		予想比	
	中間	通期			金額	比率	金額	比率
売上高	17,554	35,457	17,051	17,122	432	-2.5%	70	0.4%
売上総利益	2,228	4,142	2,234	2,001	226	-10.2%	232	-10.4%
営業利益	279	378	283	58	221	-79.1%	225	-79.4%
持分法による 投資利益	164	158	82	74	90	-54.9%	8	-10.3%
経常利益	1,096	695	342	120	975	-89.0%	221	-64.8%
特別利益	18	940	-	161	143	758.8%	-	-
特別損失	56	58	-	0	56	-98.9%	-	-
当期純利益	679	970	232	172	506	-74.6%	60	-25.8%
E P S(円)	85.06	121.43	29.14	21.61	63.45	-74.6%	7.53	-25.8%

3-1. 利益減少の要因(原料高の影響)



売上総利益率推移(連結)

品目別	売上高 (百万円)	売上総利益率			売上総利益率増減		利益率増減の主要因
	H19-3 中間	H18-3 中間	H18-3	H19-3 中間	H18-3 中間比	H18-3比	
コ-ヒ-生豆	2,391	非開示			0.44%	3.93%	高値水準で推移するもH16年秋以降の高騰局面からのタイムラグ要因が収束し回復基調
飲料製品 及び原料	2,218				-1.35%	-0.54%	原料高値推移コストアップの価格転嫁遅延 量販店向け年間契約、順次価格改定進行中
常温食品	4,585				-0.87%	-0.28%	産地高:中国産缶詰(人民元高、人件費、容器、ホジ タイプリスト制導入による影響)、イタリア食品(オリーブオイル)
冷凍食品	4,311				-2.76%	-1.86%	原料高: BSE・鳥インフルエンザ・健康志向 魚類価格高騰 エビ1割強UP
食品原料	3,255				-2.52%	-1.70%	産地高:農産物は前年暴落・海外作付減産による原 料高(たまねぎ、かぼちゃ)、 トマト加工品
その他	359				4.03%	5.50%	-
合計	17,122	12.69%	11.68%	11.69%	-1.00%	0.01%	-

3-2. 利益減少の要因(為替レート推移と円安影響)



石光商事株式会社

当社決済レート推移

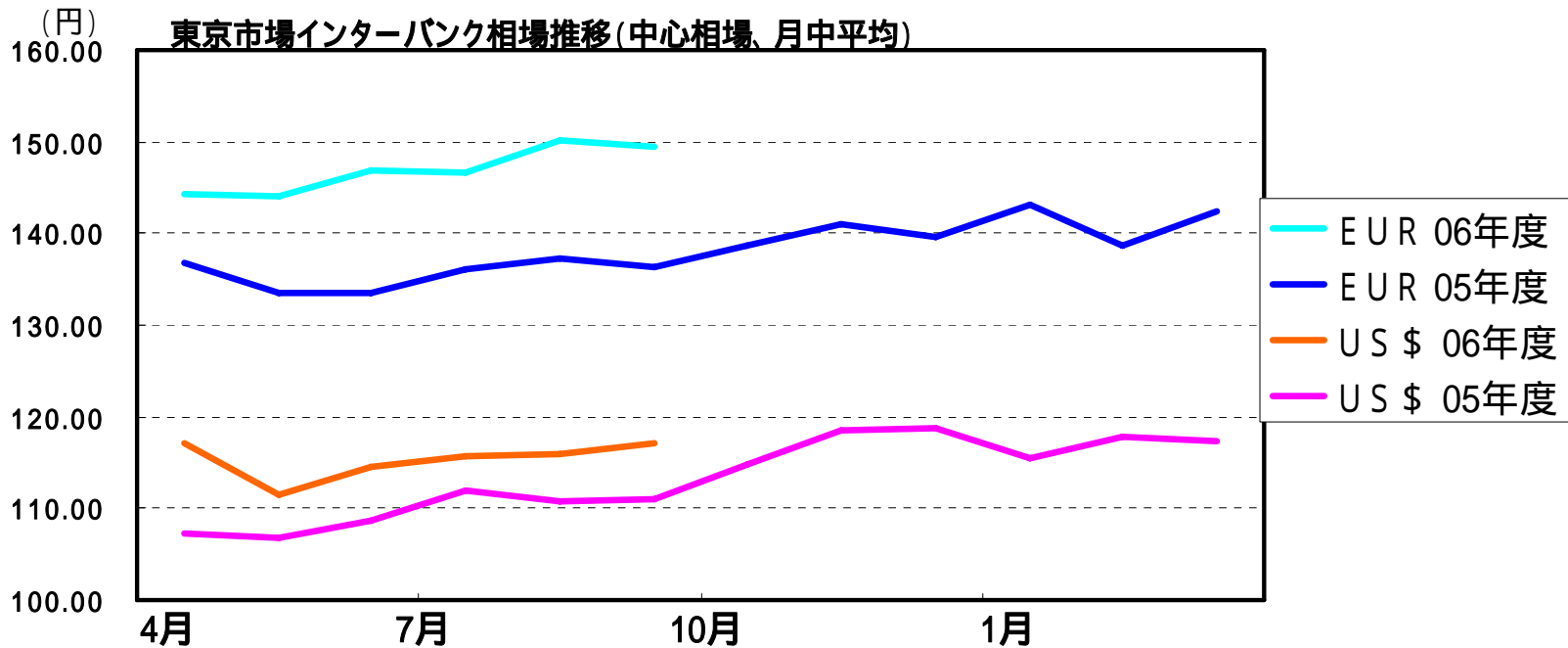
	18年度上期	17年度上期	17年度通期	17年度上期比	17年度通期比
US \$	115.30	108.22	111.83	7.08	3.47
EUR	137.01	134.78	136.39	2.23	0.62

円安影響額 (百万円)

	17年度上期比	17年度通期比
US \$	333	163
EUR	7	2
計	340	165

東京市場インターバンク相場(中心相場、月中平均)

	18年度上期	17年度上期	17年度通期	17年度上期比	17年度通期比
US \$	115.29	109.44	113.26	5.85	2.03
EUR	146.88	135.60	138.12	11.28	8.76



(出所)日本銀行HP公表レート

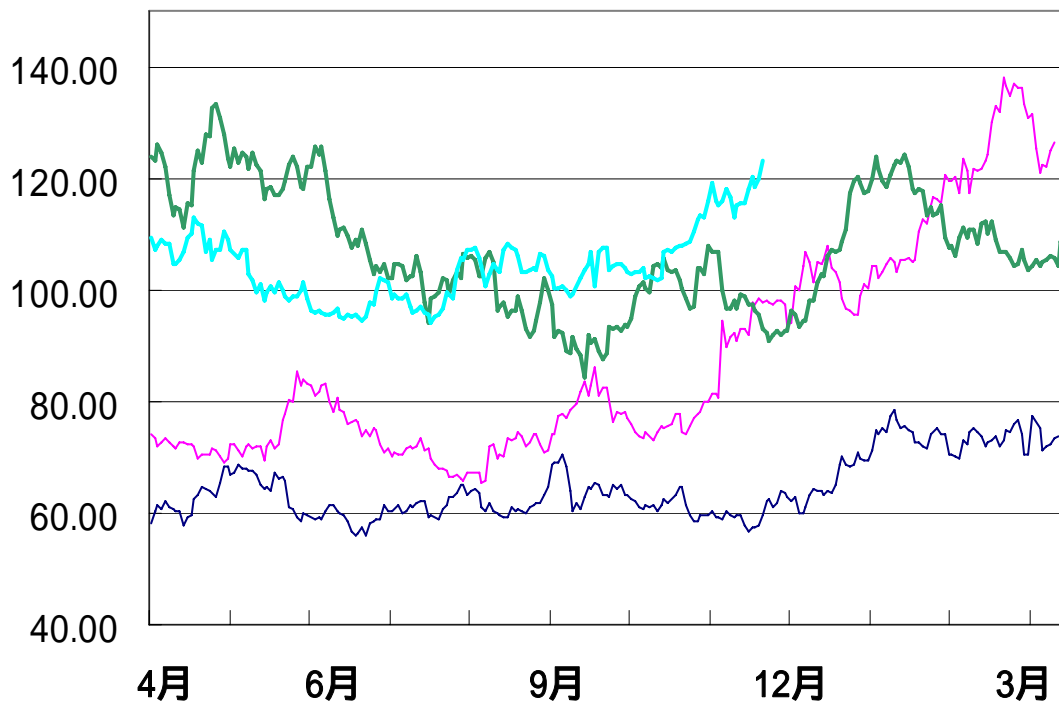
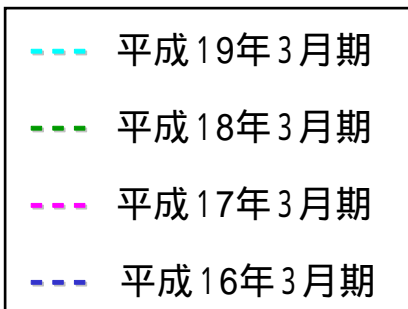
3-3. 利益減少の要因(NYコーヒー相場)



石光商事株式会社

ニューヨーク先物期近銘柄
終値 月平均推移(セント/ポンド)

(セント/ポンド)
(1ポンド 0.453Kg)



(出所)ニューヨーク商品取引所 先物期近銘柄

H16/4 ~ H17/3	
上期平均	72.26
期中平均	100.51

H17/4 ~ H18/3	
H17/4月	120.81
5月	119.52
6月	112.33
7月	101.53
8月	99.64
9月	91.64
上期平均	107.54
10月	99.72
11月	100.24
12月	97.93
1月	119.33
2月	111.91
3月	106.51
期中平均	106.68

H18/4 ~ H18/9	
H18/4月	108.17
5月	102.67
6月	96.55
7月	97.82
8月	104.77
9月	102.78
上期平均	102.15

H18/9 ~ H18/11	
10月	104.55
11月	115.50

4. 当中間特記事項と近年の特殊要因

- ・当中間期の特記事項・特別利益に未払金戻入益 150百万を計上
- ・近年特殊要因・前前期(H17-3期)以降、長期為替予約であるクーポンスワップ(CS)の評価(解約)損益に大きく影響を受けた。(評価上のものでキャッシュフローに影響は無し)

	(前前期) H17-3期	(前期) H18-3期		(当期) H19-3期 中間
		中間	通期	
営業外収益	404	873	415	114
経常利益	1,356	1,096	695	120
特別利益	3	18	940	161
特別損失	834	56	58	0
当期純利益	416	679	970	172

当期(H19-3中) 特別利益

未払金戻入益 150百万円

未払金に計上していた債務につき、当中間会計期間において時効期日が経過したため、計上。

CS(クーポンスワップ*) 関連

・H17-3 特別損失

CS評価損 831百万円

・H18-3中 営業外収益

CS評価益 601百万円

・H18-3 特別利益

CS解約益 921百万円

*クーポンスワップ … 長期為替予約の一種

5-1. 品目別売上状況(連結)前期比



石光商事株式会社

実績と前期比

(百万円)

	平成18年3月期					平成19年3月期中間		
	中間		通期			売上高		
	金額	構成比	金額	構成比	前同比	金額	構成比	前同比
コーヒー生豆	2,188	12.5%	4,614	13.0%	19.5%	2,391	14.0%	9.2%
飲料製品 及び原料	1,966	11.2%	4,322	12.2%	7.3%	2,218	12.9%	12.8%
常温食品	4,404	25.1%	8,611	24.3%	-0.2%	4,585	26.8%	4.1%
冷凍食品	4,154	23.7%	8,502	24.0%	6.5%	4,311	25.2%	3.8%
食品原料	2,970	16.9%	6,987	19.7%	7.7%	3,255	19.0%	9.6%
その他	1,869	10.6%	2,420	6.8%	-23.8%	359	2.1%	-80.8%
合計	17,554	100.0%	35,457	100.0%	3.8%	17,122	100.0%	-2.5%

・その他・・・繊維製品(輸入)の事業閉鎖、機械機器(輸出)の減少により大幅減少

5-2. 品目別売上状況(前期比増減の主要因)

品目別売上高 前期比増減の主要因

(金額単位:百万円)

	平成18年3月期		平成19年3月期中間			増減の主要因 (%は、当社単独の対前年同期 増減率)
	売上高(連結)		売上高 (連結)	前年同期比		
	中間	通期		増減額	増減率	
コ-ヒ-生豆	2,188	4,614	2,391	202	9.2%	販売数量 減少 5% 販売単価上昇で売上増
飲料製品 及び原料	1,966	4,322	2,218	251	12.8%	茶類(紅茶原料)32% RC(コーヒ-バッグ)13%
常温食品	4,404	8,611	4,585	181	4.1%	食品輸出37%、イタリア食品(パスタ、オリ-ブオイル)20% 国内メーカー品 減少
冷凍食品	4,154	8,502	4,311	156	3.8%	調理加工品(鶏唐揚、白身魚フライ、フランク-セ-ジ)38% 水産加工品(タコ、イカ)6%
食品原料	2,970	6,987	3,255	285	9.6%	生鮮・塩蔵野菜、栗甘露煮 増加 小豆加工品 減少
その他	1,869	2,420	359	1,510	-80.8%	繊維製品(輸入) 事業閉鎖 機械機器(輸出) 減少
合計	17,554	35,457	17,122	432	-2.5%	-

主要商品の売上高概況(単独)については、末尾ご参考資料(P29～P32)をご覧ください。

6. 連結貸借対照表 概要



石光商事株式会社

(百万円)

科目	H17年9月	H18年9月	増減	科目	H17年9月	H18年9月	増減
流動資産	11,067	12,294	1,226	流動負債	7,236	8,340	1,103
現金及び預金	1,605	1,662	57	仕入債務	3,234	4,009	774
売上債権	5,101	5,896	795	借入金	1,847	2,702	855
たな卸資産	3,981	4,454	473	その他	2,155	1,629	525
その他	380	280	99	固定負債	2,442	2,311	130
固定資産	6,210	6,293	83	長期借入金	1,500	1,588	87
有形固定資産	2,714	2,655	58	その他	941	723	217
無形固定資産	13	14	1	負債合計	9,679	10,652	973
投資その他の資産	3,482	3,622	140	少数株主持分	187		
				資本合計	7,411		
				資本金	623		
				資本剰余金	357		
				利益剰余金	6,366		
				その他有価証券評価差額金	69		
				自己株式	4		
				負債・資本合計	17,278		
				純資産		7,935	
				資本金		623	
				資本剰余金		357	
				利益剰余金		6,629	
				自己株式		4	
				評価・換算差額等		128	
				少数株主持分		202	
資産合計	17,278	18,588	1,310	負債純資産合計		18,588	1,310

・中間期末日休日要因による増加
 売上債権 672百万円 仕入債務 685百万円

・たな卸資産の増加
 ・借入金(短期・長期)の増加

自己資本比率	42.90%	41.60%	-1.30%
--------	--------	--------	--------

7. 連結CF計算書 概要



(百万円)

	平成16年上期	平成17年上期	平成18年上期
営業活動によるキャッシュフロー	197	745	322
投資活動によるキャッシュフロー	53	18	82
財務活動によるキャッシュフロー	130	972	402
換算差額	2	12	16
現金及び現金同等物の増減額	15	196	19
現金及び現金同等物の期首残高	1,603	1,716	1,599
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,619	1,520	1,580
売上債権・仕入債務の増減額	481	405	869
たな資産の増加額	570	312	789
手形割引高	1,319	1,308	1,310

8. TACRの業績推移

東京アライドコーヒーロースターズ(株)

・持分法投資利益は、予想比 10% 前年同期比 約 50%
 (コーヒー相場高値推移の影響を価格に転嫁できず、中間純利益が減少)

実績と前年同期比

(百万円)

	平成17年12月期		平成18年 12月期中間	前年 同期比	平成18年 12月期予想	前期比
	中間期	通期				
売上高	4,233	8,922	4,506	6.45%	9,000	0.9%
当期純利益	413	427	186	-54.88%	335	-21.7%
当社持分比率	39.64%	39.64%	39.64%	-	39.64%	-
投資損益合計	164	158	74	-54.88%	121	-23.2%

9. 単体実績と連単倍率



石光商事株式会社

(単位:百万円,倍)

	平成18年3月期			平成19年3月期		
	中間			中間		
	連結	単独	連単倍率	連結	単独	連単倍率
売上高	17,554	17,370	1.0	17,122	16,906	1.0
売上総利益	2,228	2,028	1.1	2,001	1,771	1.1
営業利益	279	234	1.2	58	-13	—
経常利益	1,096	912	1.2	120	5	22.4
当期純利益	679	510	1.3	172	90	1.9
E P S (円)	85.06	63.84	1.3	21.61	11.36	1.9

・平成19年3月期 業績見通し

常務取締役 管理部門長兼経営企画室長
久保 潤一

10. H19年3月期通期見通しの前提

1. H18年10月20日に上期・通期業績予想の下方修正。
下期予想は変更せず、通期予想は上期の減少分によるもの。

(売上)

2. 冷凍食品・・・輸入水産加工品・輸入調理加工品の増加。
3. その他・・・本業強化による繊維製品の事業閉鎖と
機械・機器輸出減により減少。

(利益)

4. 下期より、販売価格改定等により徐々に利益回復。
5. 当期純利益の大幅減少は、H18-3期の特別利益(CS解約益)
の計上によるもの。

11. 業績予想(連結)



・H18年10月20日に上期・通期業績予想の下方修正。
 (下期予想は変更せず、通期予想は上期の減少分を踏まえたもの。)

(百万円)

	平成18年3月期		平成19年3月期			
	実績	増減率	上期 実績	通期 予想	前期比	
					金額	比率
売上高	35,457	3.8%	17,122	36,811	1,353	3.8%
売上総利益	4,142	-14.3%	2,001	4,509	366	8.9%
営業利益	378	-64.3%	58	687	309	81.8%
持分法による 投資利益	158	-50.0%	74	121	36	-23.2%
経常利益	695	-48.7%	120	784	89	12.8%
当期純利益	970	133.0%	172	555	415	-42.8%
E P S(円)	121.43	133.2%	21.61	69.48	51.95	-42.8%

H18-3期配当実績 25円(普通配当20円
記念配当5円)

H19-3期 配当予想 20円

12. 業績予想(連結 品目別)



冷凍食品・輸入水産加工品・輸入調理加工品が増加の予想
 その他・・・繊維製品の事業閉鎖、機械・機器の輸出減少

(百万円)

	平成18年3月期				平成19年3月期予想			
	売上高		前期比		売上高		前期比	
	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	金額	増減率
コーヒー生豆	4,614	13.0%	754	19.5%	4,881	13.3%	267	5.8%
飲料製品 及び原料	4,322	12.2%	294	7.3%	4,615	12.5%	293	6.8%
常温食品	8,611	24.3%	19	-0.2%	8,521	23.2%	90	-1.0%
冷凍食品	8,502	24.0%	519	6.5%	9,910	26.9%	1,407	16.6%
食品原料	6,987	19.7%	498	7.7%	7,331	19.9%	343	4.9%
その他	2,420	6.8%	755	-23.8%	1,551	4.2%	869	-35.9%
合計	35,457	100.0%	1,291	3.8%	36,811	100.0%	1,353	3.8%

・中期的展望

～「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」を目指して～

代表取締役 社長
森本 茂

13. 創業100周年



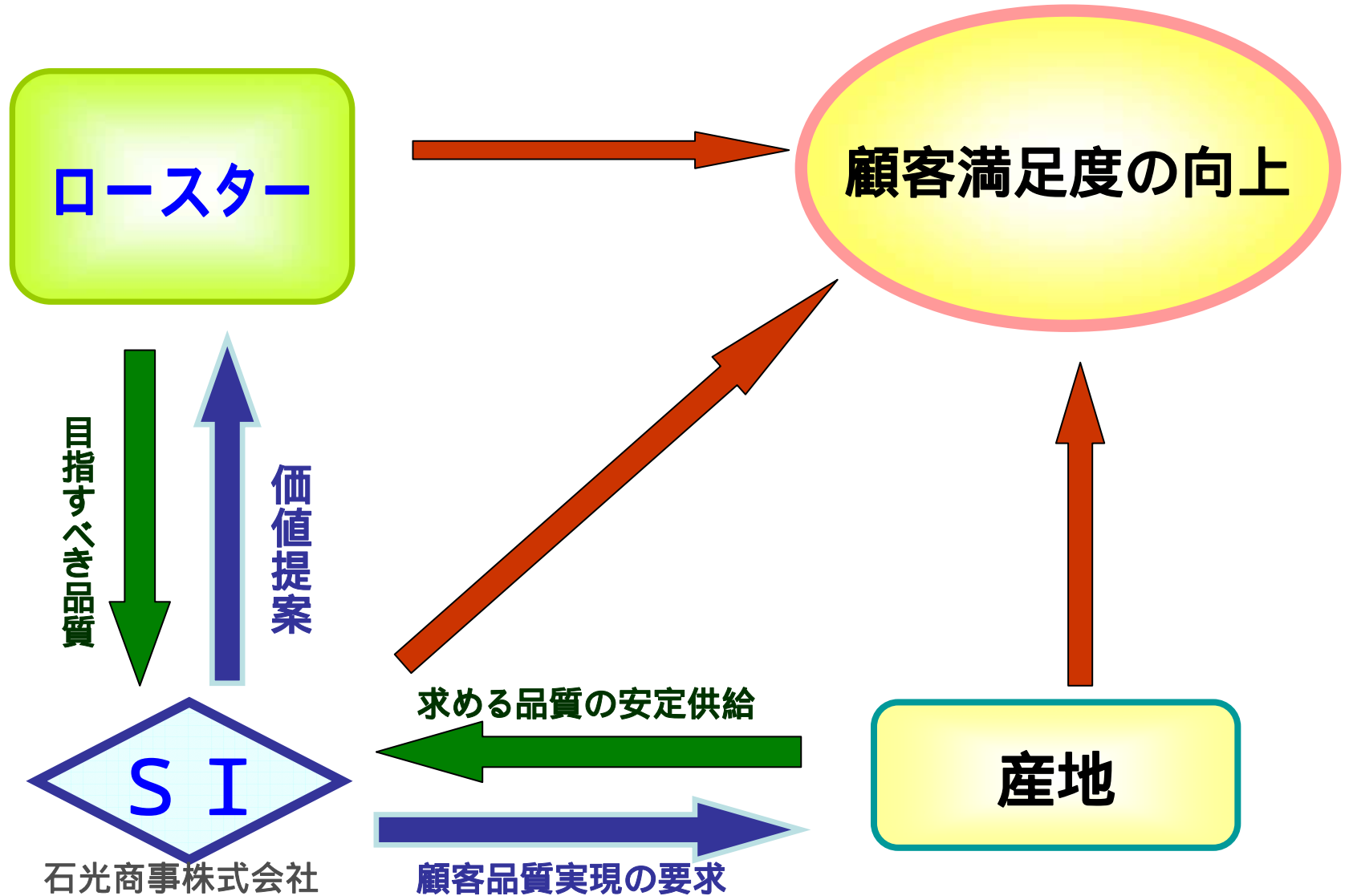
石光商事株式会社

創業100周年記念行事 (H18年5月13・14日 神戸)

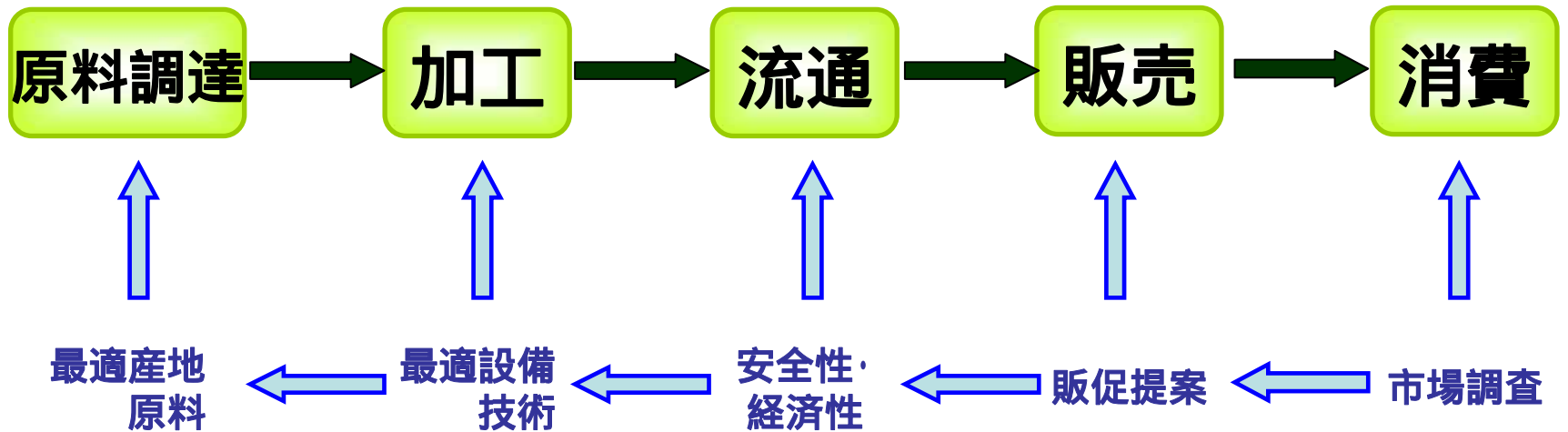


創業者石光季男 ロサンゼルスにて創業から100年。
歩んできた100年を振りかえり、
パイオニア精神の炎をあらたに胸に。
次なる100年へむけて誓いあう。

14. コーヒー事業



15. マーチャンダイジング



16. 中期経営計画



石光商事株式会社

中期経営計画（数値） 2007年3月期 ~ 2010年3月期

最終年度2010年	売上高	410億円
	経常利益	14億円

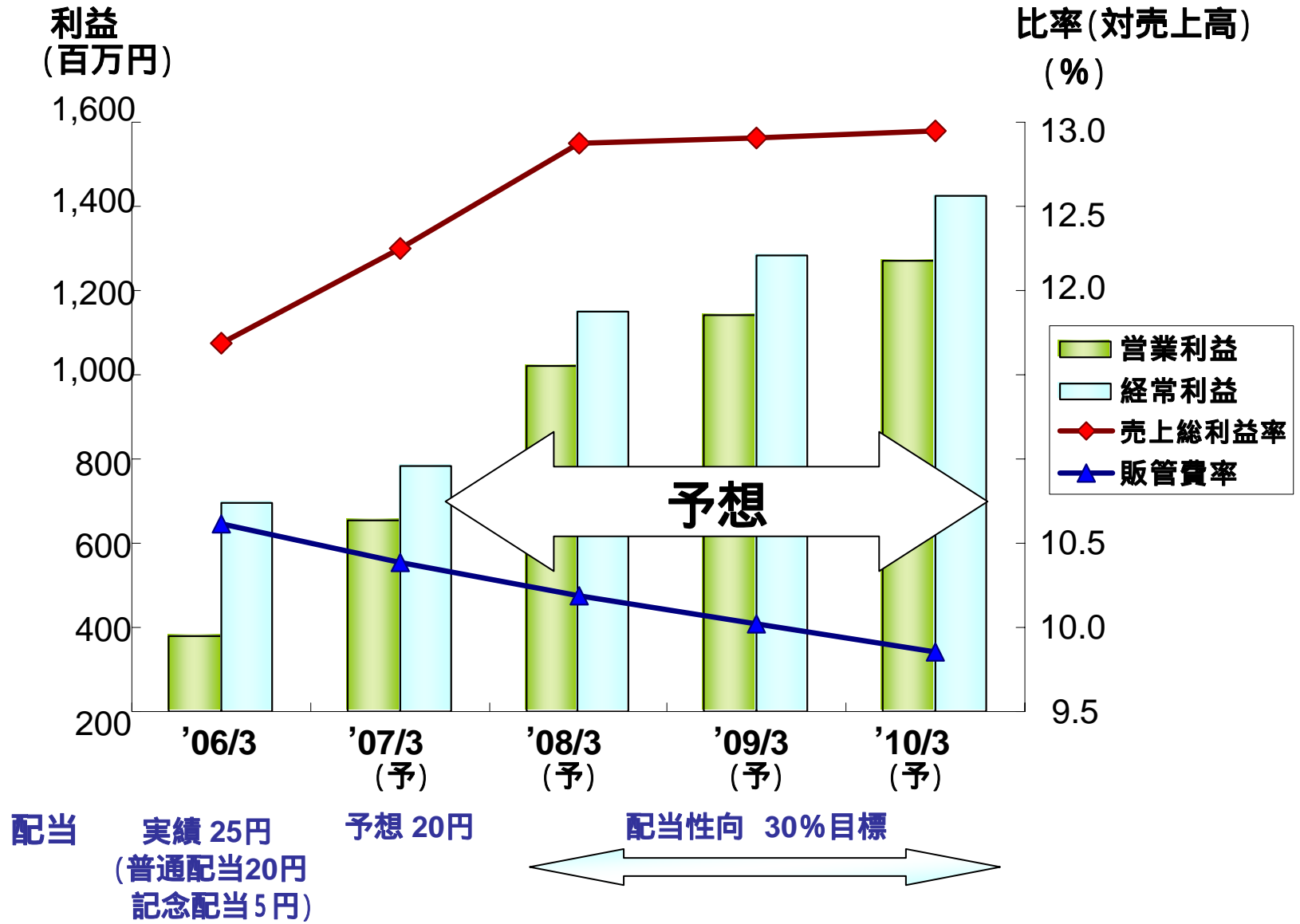
2つの課題

- ✓ 総コストの削減
- ✓ 人財の確保

4つの重要施策

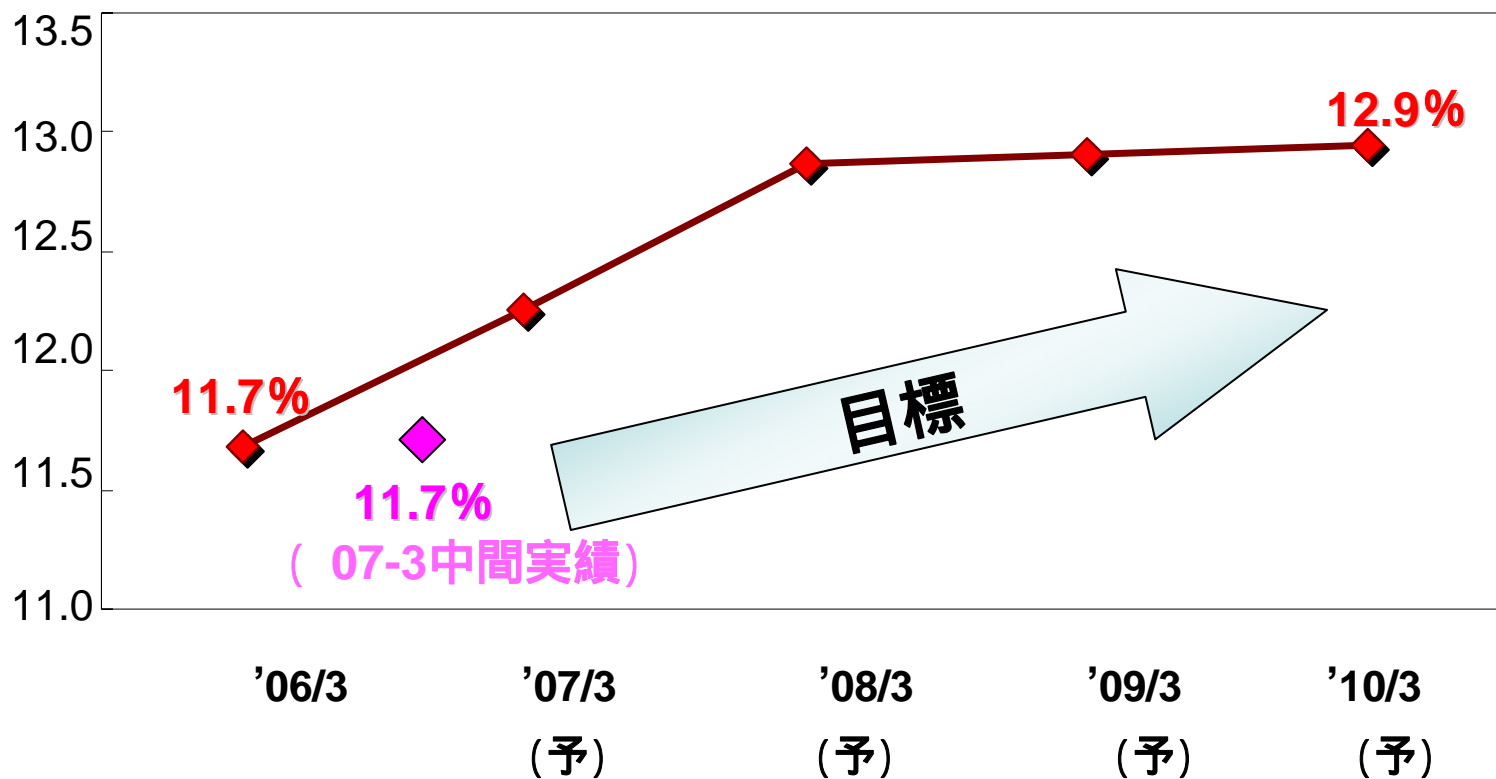
- ✓ マーチャンダイジング機能の充実・強化
- ✓ コーヒーの価値提案
- ✓ 研究開発室の拡充
- ✓ 海外事業の拡大

17. 中期目標



18. 中期目標 利益率改善

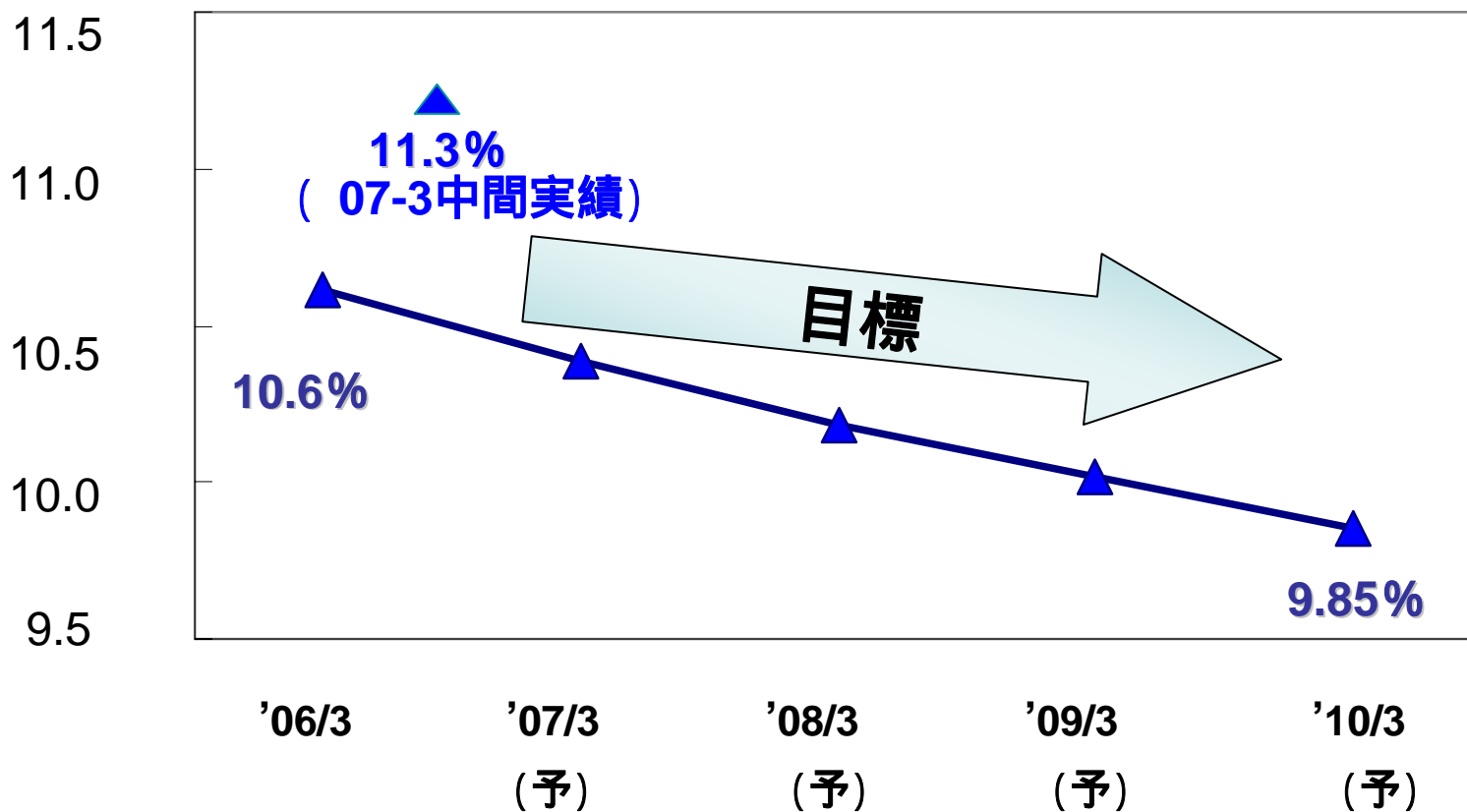
売上総利益率(対売上高)
(%)



19. 中期目標 総コスト削減

販売費・一般管理費率(対売上高)

(%)



20. 当社の抱える問題点

1) 事業環境

- ➡ 人口減少、少子高齢化による需要減
- ➡ オーバーストアによる競争激化

2) 当社自身の問題点

- ➡ 伝統的な商品・販路の疲弊
- ➡ 高コスト体質
- ➡ 低い成長力

21. 対策



石光商事株式会社

1) 顧客

- ✓ 新たな取組提案とパートナーシップ(既存顧客)
- ✓ 新規顧客垂直開拓
- ✓ 海外市場開拓

2) 商品

- ✓ 自己開発商品の深耕
- ✓ 製品リニューアル
- ✓ 共同開発

3) コスト削減

- ✓ 新コンピュータシステム導入による受発注・在庫管理の一元化
- ✓ 営業生産性UP

4) 組織・人事

- ✓ 新組織、茶類チーム独立 東京支店強化
- ✓ 中途採用者(Specialist)増員

5) 教育

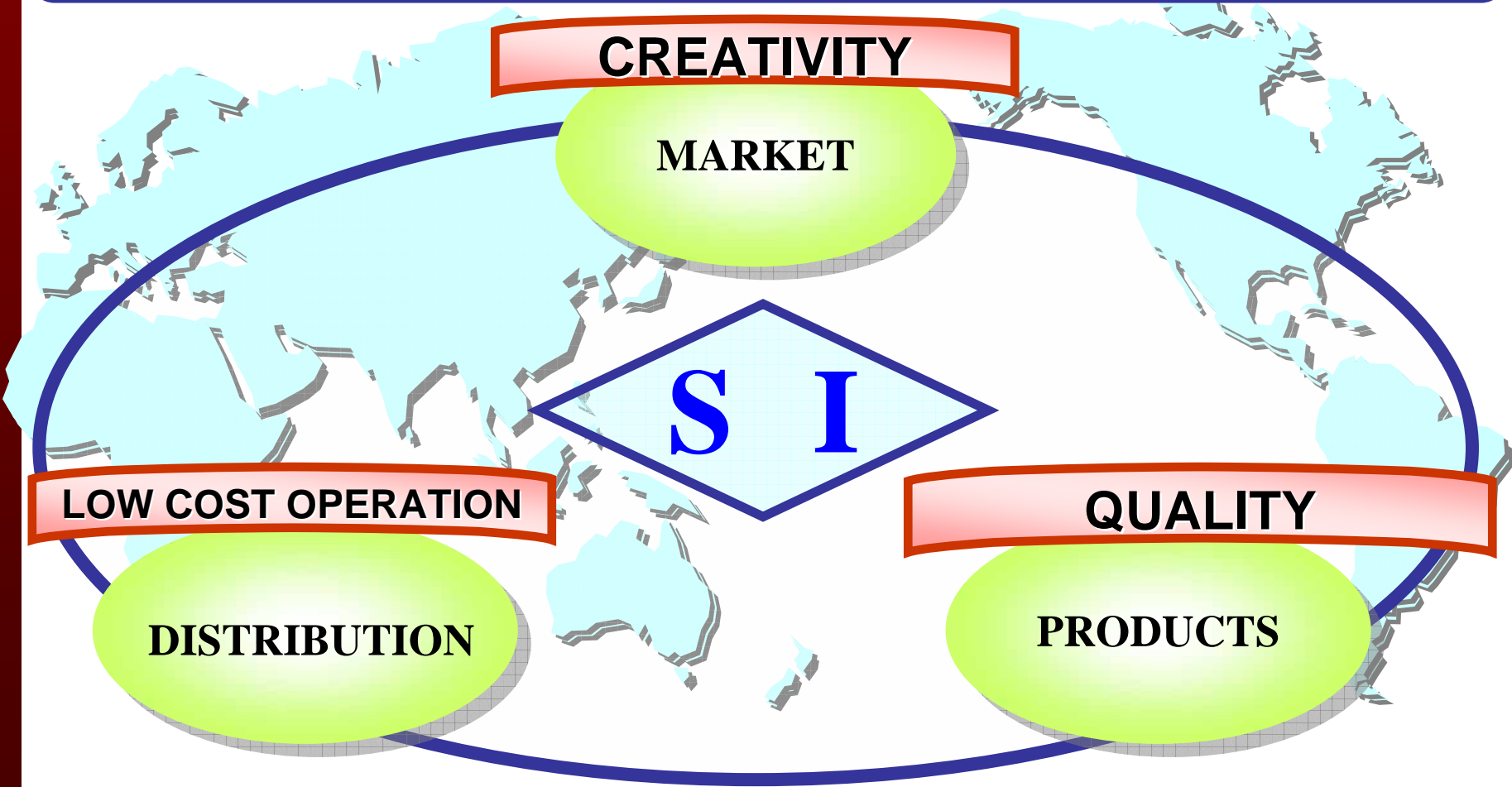
- ✓ コーヒーマーチャンダイザー制度(社内資格)導入
- ✓ 資格・分野別研修制度
- ✓ 資格取得支援制度

6) 成長の為の投資

- ✓ 研究開発室機器、M&A 等

22. 目指すべき企業像

THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER



・ 参考資料

～ 会社概要、売上高概況(単独) ～

会社概要



石光商事株式会社

- 社名 : 石光商事株式会社 (S.ISHIMITSU & CO.,LTD.)
本社 : 神戸市
代表者 : 代表取締役会長 代表取締役副会長 代表取締役社長
 石光輝男 駒澤啓之 森本 茂
- 創業者 : 石光季男
創業 : 1906年7月 ロザンセルスにて
設立 : 1951年5月
売上高 : 35,457百万円 (平成18年3月期連結)
経常利益 : 695百万円 (平成18年3月期連結)
当期純利益 : 970百万円 (平成18年3月期連結)
従業員数 : 228人 (平成18年3月末連結)
主要業務 : コーヒーを中心とする食品販売事業
関係会社 : 連結子会社5社、持分法適用関連会社1社

沿革



石光商事株式会社

- ◆ 1906年 : 創業者が単身渡米、ロサンゼルスにおいて食料品販売業を創業
- ◆ 1922年 : 対日貿易量の増大にともない本店を神戸に移す
- ◆ 1941年 : 戦争激化により休業。海外資産没収
- ◆ 1951年 : 貿易再開と同時に神戸にて株式会社石光季男商店を設立
- ◆ 1963年 : 石光商事株式会社と改称
- ◆ 1972年 : 東京アライドコーヒースターズ(株)設立(東京地区取引先との共同出資)
- ◆ 1973年 : 関西アライドコーヒースターズ(株)設立(関西地区取引先との共同出資)
- ◆ 1999年 : 神戸市灘区にて本社新社屋ビルが完成、移転
- ◆ 2002年 : 組織改革 チーム制の導入
店頭市場(現:ジャスダック証券取引所)に上場
- ◆ 2004年 : 人事制度改革、情報システム再構築へ着手
安全な食品の提供(研究開発室・品質保証室の強化)
- ◆ 2005年 : 新人事制度の導入
- ◆ 2006年 : 創業100周年を迎える



石光商事グループ



石光商事株式会社

関西アライドコーヒー
ロースターズ(株)
(神戸)

レギュラーコーヒーの
焙煎・加工・販売
(出資比率 64%)

東京アライドコーヒー
ロースターズ(株)
(東京)

レギュラーコーヒーの
焙煎・加工・販売
(出資比率 39%)

キング珈琲(株)
(札幌)

レギュラーコーヒーの焙煎・
販売及び食品の販売
(出資比率 92%)

ユーエスフーズ(株)
(東京)

コーヒー生豆の小分け販売
(出資比率 100%)

岩屋サービス(株)
(神戸)

運送業
(出資比率 83%)

シーカフェ(株)
(東京)

イタリアレストランの経営
(出資比率 100%)

関西アライドコーヒーロースターズ(株)



キング珈琲(株)



岩屋サービス(株)

(当社物流センター内)



イタリアレストラン“イバル”



東京アライドコーヒーロースターズ(株)



ユーエスフーズ(株)



ピッツェリア“バッコ”



売上高概況(単独) ~ コーヒー生豆・RC・IC・紅茶 ~

- ・RC(レギュラーコーヒー)・・・ コーヒーバッグが伸長
- ・IC(インスタントコーヒー)・・・ 輸入製品微増
- ・茶類・・・ 原料用紅茶等の増加

実績と前年同期比

(百万円)

	平成18年3月期				平成19年3月期中間		
	上期 売上高	前年 同期比	通期 売上高	前年 同期比	売上高	前年同期比	
						金額	増減率
コーヒー生豆	2,122	18.0%	4,567	20.5%	2,311	189	8.9%
(コーヒー 生豆数量)	144千袋	-2.6%	302千袋	3.0%	135千袋	8千袋	-5.9%
RC	592	-0.2%	1,468	22.6%	671	79	13.3%
IC	393	-12.7%	855	-3.2%	396	3	0.8%
紅茶他茶類等	711	11.5%	1,519	3.5%	939	228	32.0%

* コーヒー生豆の販売数量には、当社子会社である関西アライド'コーヒー・ロースターズ'(株)への有償支給分を含んでおります。

売上高概況(単独) ~ イタリア食材 ~

・輸入元であるイタリアパスタメーカー倒産・再生による影響を脱し
従前の正常な水準までほぼ回復

輸入パスタ・オリーブオイルの実績と前年同期比

(百万円)

	平成18年3月期				平成19年3月期中間		
	中間		通期		売上高	前年同期比	
	売上高	前年同期比	売上高	前期比		金額	増減率
輸入パスタ	158	-29.3%	381	4.1%	226	67	42.5%
オリーブオイル	169	6.9%	356	15.1%	188	19	11.4%
生ハム・チーズ	49	9.1%	91	5.6%	39	10	-20.7%
合計	378	-11.8%	829	8.7%	454	76	20.3%

売上高概況(単独) ~ 冷凍水産加工品 ~



石光商事株式会社

・タコ類、イカ類 販売好調

実績と前年同期比

(百万円)

	平成18年3月期				平成19年3月期中間		
	中間		通期		売上高	前年同期比	
	売上高	前年同期比	売上高	前期比		金額	増減率
エビ類	1,127	-0.5%	2,364	2.5%	1,140	12	1.1%
タコ類	430	32.6%	902	28.1%	557	127	29.5%
イカ類	64	22.7%	138	23.3%	83	18	29.3%
その他水産品	75	-38.3%	95	-48.0%	28	46	-61.8%
合計	1,698	4.0%	3,500	5.9%	1,810	112	6.6%

売上高概況(単独) ~ 冷凍調理加工品 ~



石光商事株式会社

- ・既存商品の伸長(鶏唐揚げ、白身魚フライ、フランクソーセージ等)
- ・新商品の積極的開発によるアイテム数の増加

冷凍調理加工品の実績

(百万円)

	平成18年3月期				平成19年3月期中間		
	中間		通期		売上高	前年同期比	
	売上高	前同比	売上高	前期比		金額	増減率
鶏唐揚げ	127	95.2%	274	60.8%	160	33	26.6%
白身魚フライ	47	-0.8%	96	14.8%	60	13	28.0%
お好み焼	33	824.4%	81	233.6%	28	4	-13.7%
フランクソーセージ	12	592.3%	38	242.7%	28	15	126.9%
ロールキャベツ	17	43.0%	37	18.9%	16	0	-5.6%
八幡巻	17	106.0%	19	-43.7%	12	4	-27.8%
その他	106	16.7%	263	53.1%	191	85	80.3%
合計	361	57.1%	811	53.5%	500	138	38.2%

予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料は現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

本日は、ありがとうございました。
今後とも、ご支援・ご理解を賜りますよう、
宜しくお願い申し上げます。

石 光 商 事 株 式 会 社

経営企画室 久保・前田

TEL : 078-861-7828

FAX : 078-882-1007

URL : <http://www.ishimitsu.co.jp/>

MAIL: ir@ishimitsu.co.jp



石光商事株式会社
S. ISHIMITSU & CO., LTD.